

定 義 ア ラ カ ル ト

市原ファミリースクエアーズ
森 口 久 江

☆ARC とは

International Association of Square Dance Callers (CALLERLAB) の中の、委員会のひとつである Application Review Committee (アプリケーション検討委員会) (以下 ARC と略す) の判断した内容の報告集である

この委員会は、世界中の経験豊かなコーラーによって構成され、ダンサーやコーラーからの「定義 (Definition) 」や「アレンジメント (Arrangement) 」について、「使い方が適切か、否か」の質問を受けて、使い方の妥当性を検討する。自発的に行動を始めるというより、受動的である。

現在、S 協の HP では、「2017 年 3 月 14 日改訂版 Q」が掲載されていますが、CALLERLAB の HP には「2023 年 9 月 14 日改訂版 R」が掲載されています。S 協の SD 小委員会では変更箇所含め全体的に見直しをしました。近日アップ予定です。

☆質問 (皆さんはどう思いますか)

- ① オール エイト サーキュレイト (All Eight Circulate)
ダブル パス スルーの終わった隊形から「オール エイト サーキュレイト (All Eight Circulate) 」がコールされた。これは CALLERLAB のベーシックの定義に記述されている条件を満たしているか？
- ② ハーフ サッシュエイ (Half Sashay)
隊形は右手又は左手のオーシャン ウェイブズ
コールは、「センタース ハーフ サッシュエイ (Centers Half Sashay) 」
- ③ ハーフ タグ ザ ライン (Half Tag The Line)
「ハーフ タグ (Half Tag) 」のコールの後、身体 (からだ) の向きを指示するのは、妥当だろうか？ 例えば、ライト、レフト、イン、アウト (Right , Left , In , Out) など？
- ④ スピン チェイン スルー (Spin Chain Thru)
アラモ リング隊形 (Alamo Ring Formation) から、「スピン チェイン スルー (Spin Chain Thru) 」とコールしても良いか？

⑤ スピン ザ トップ (Spin The Top)

隊形は、トゥー フェイスト ライン (Two Faced Line) コールは「ビギン ウイズ ア パートナー トレイド アンド スピン ザ トップ (Begin with a Partner Trade and Spin The Top)

⑥ スウィープ ア クォーター (Sweep A Quarter)

A) リサイクル (Recycle) の後に、スウィープ ア クォーター (Sweep A Quarter) をコールするのは？

B) 次の動作の後に、「スウィープ 1/4 (Sweep 1/4) 」を、コールするのは、いかがか？

a. 「スウィング スルー、 シングル ヒンジ、 スウィープ 1/4 (Swing Thru, Single Hinge, Sweep 1/4) 」？

b. トゥー フェイスト ライン (Two Faced Line) から、「ベンド ザ ライン、 スウィープ 1/4 (Bend the Line , Sweep 1/4) 」？

c. トゥー フェイスト ライン (Two Faced Line) から、「キャスト オフ 3/4、 スウィープ 1/4 (Cast Off 3/4 , Sweep 1/4) 」？

d. 4 人の、 向かい合ったライン (Facing Line) から、「タッチ 1/4、 スウィープ 1/4 (Touch 1/4 , Sweep 1/4) 」？

e. 「チェイン ダウン ザ ライン、 スウィープ 1/4 (Chain Down the Line, Sweep 1/4) 」？

f. 「キャスト オフ 3/4、 スウィープ 1/4 (Cast Off 3/4, Sweep 1/4) 」は、 妥当か？

☆ベーシック動作の定義 分割第 9 版の発行以降の改定

・2021 年 7 月 31 日付改定：

18. Lead Right (リード ライト) / Lead Left (リード レフト)

33. Wheel Around (ウィール アラウンド) /

Reverse Wheel Around (リバース ウィール アラウンド)

・2023 年 3 月 6 日付改定

1. Circle Left (サークル レフト) / Circle Right (サークル ライト)

◎ 50 ページ

18. Lead Right (リード ライト) / Lead Left (リード レフト)

動作を始める隊形： カプル

コール例：

Heads Lead Right

Sides Lead Out To The Right

Sides Lead Left

Couple #1 Lead Out To The Right

Wheel And Deal and Lead Right (from Right-Hand Tidal Two-Faced Line)

Heads Right And Left Thru, then Lead Left

動作：

指示されたカプルが一組となって 90 度弧を描いて前進し、右（リード ライトの時）にいるカプル（または壁）と向かい合う。リード レフト（Lead Left）の時は、左にいるカプル（または壁）に向かい合う。

動作を終わる隊形： カプル

タイミング： 4 拍。

スタイリング：

動作中はカプルの手のとり方を維持する。外側の手は、自然なダンス位置。

注釈：

この動作は ほとんど常に スクエアセットから行われ、8 Chain Thru（エイト チェイン スルー）隊形で終わる。

アクティブカプルはコールの終わりに誰かと向き合う期待がある。

誰とも向かい合わないのは Lead Right (リード ライト) や Lead Left (リード レフト) の使い方として例外的である。

向かい合ったカプルから行われた場合、カプルは背中合わせで終わる。

◎68 ページ

33. Wheel Around (ウィール アラウンド)/

Reverse Wheel Around (リバース ウィール アラウンド)

動作を始める隊形： カプル。

コール例：

Promenade, Keep Walking; Heads Wheel Around and make lines

Promenade, Keep Walking; Sides Wheel Around; Right and Left Thru

Promenade; All Wheel Around; Promenade, Wrong Way

Pass Thru; Wheel Around (from Facing Couples)

Heads Pass Thru and Wheel Around; those Ladies Chain

Pass Thru; Wheel and Deal; Centers Wheel Around

Heads Slide Thru and Square Thru 3; Left Touch 1/4; Walk and Dodge;
Wheel Around

Sides Star Thru; Double Pass Thru; Centers In; Boys Wheel Around;
Couples Circulate

(右手の Two-Faced Line から) Ferris Wheel ; Centers Reverse Wheel Around

Heads Pass Thru and Reverse Wheel Around and Lead Right

Heads Pass Thru and Reverse Wheel Around and Reverse Flutterwheel

Sides Star Thru; Double Pass Thru; Centers In; Girls Reverse Wheel
Around; Couples Circulate

動作：

カプルは一組として動き、左へ回る（180度）。左側の人の方が下がり、右側の人の方が前進する。回転の中心は互いに繋いだ手の位置になる。

Reverse Wheel Around (リバース ウィール アラウンド) では、カプルは一組として動き、右へ回る（180度）。右側の人の方が下がり、左側の人の方が前進する。さらに回転の中心は互いに繋いだ手の位置になる。

動作を終わる隊形： カプル。

タイミング： 4 拍。

スタイリング：

カプルはカプルの手の取り方、又は前の動作（例えば、Promenade – プラマネイド）から引き継いだ手の取り方を維持する。次にコールされる動作によっては、Wheel Around (ウィール アラウンド)動作を終了するにあたり、手の取り方を調整する。

注釈：

4 カプルが Promenade (プラマネイド) していて、2 カプルが Wheel Around (ウィール アラウンド)するとき、追加の動作を必要とする。例えば、“Promenade, Keep Walking; Heads Wheel Around (プラマネイド キープ ウォーキング ヘッズ ウィール アラウンド)”の場合、サイズはプラマネイドをやめ、ヘッズが Wheel Around (ウィール アラウンド)するのを待って、調整して向かい合ったラインを作る。サイズがヘッズ又はサイズが向かい合っていた元の壁に向いたときサイズはプラマネイドをやめれば、壁と正面に向かい合う隊形で終わることができ、更なる調整が必要なくなると教えるコーラーもいる。69 プラマネイド) からの Wheel Around (ウィール アラウンド)に対するダンサーのよび方に関する更なる詳細については “Ways of Naming Dancers (ダンサーの呼び方)、Heads/Sides (ヘッズとサイズ)” を参照。

◎18～20 ページ

1. Circle Left (サークル レフト) / Circle Right (サークル ライト)

1.a.事例 1：8 人のダンサー

動作を始める隊形：スクエアセット、8 人の内向きサークル、向かい合ったライン。

コール例：

Circle Left

Circle to the Left

Join Hands, Circle Left

Circle Right, the other way back

(サークルが左へ動いているとき) Reverse, and Circle Right the other way back Circle

(向かい合ったラインから) Join 16 hands, Circle to the Left until you get back home

動作：

ダンサーは両隣の人と手をつないで円（サークル）を作り、この円（サークル）を指示された方向、または方向が何も指示されない場合は左へ動く。動く量は距離により指定される場合がある。（例えば、Circle Left 1/2 Way – サークル左を半分）または、次のコールがあるまで

(例 : Circle Left ... Circle Right)。

動作を終わる隊形 :

8 人の内向きサークル。"Stop At Home-ホームで停止"の指示があった場合は、スクエアセット。

タイミング : 1/4 周: 4 拍、1/2 周: 8 拍、3/4 周: 1 2 拍、全周: 1 6 拍。

スタイリング :

ダンサーは手をつなぎ (カプルの手の取り方) 円を作るが、動く方向により少し左または右を向く。ダンサーは手をつなぎ歩くが、肘は楽に曲げ、手は肘よりも上になるようにする。サークルにおけるカプルの手の取り方は、男性女性が交互にいるサークルでは、男性の手のひらを上、女性の手のひらを下にし、他のサークル、例えば同性同士が隣り合う場合では、それぞれ右手のひらを上、左手のひらを下にする。

8 人のサークルの場合、ある地域では、上体の回転動作を伴わないウォーキング ステップで、また別の地域では、ステップに合わせてコーナーやパートナーと上手くアイコンタクトをするように、体や腕を左右に回しながら、グレイプバイン ステップで踊っている。

向かい合ったラインからは、動作が進むにしたがって、隊形はスムーズに円形に変わっていく。

注釈 :

方向の指示がなく "Circle (サークル) " のコールがあった場合は、Circle Left (サークル レフト) の簡略表現である。このコールは歌詞との関連で、主にシンギングコールで使われる。

サークルで動いているとき、"Reverse-リバース" または "Go the Other Way-ゴー ジアザー ウエイ" と指示される場合があるが、この場合いったん止まって反対方向へ動く。"Circle Right-サークル ライト (または Left-レフト)" に引き続いて指示されるのが一般的である。

1.b.事例 2 : 4 人のダンサー

動作を始める隊形 : 向かい合ったカプル。

コール例 :

Circle Left 1/2 way

Circle Four, 1/2 way around

Circle Right 3/4

In Groups of 4, Circle Left 3/4 of the way around

動作 :

上記に同じ。4 人のサークルで踊っている場合、ダンサーは適切な量を回転し、同じフェイスिंगカプルで終わる。

動作を終わる隊形：向かい合ったカプル。

タイミング：1/2 周：4 拍、3/4 周：6 拍、全周：8 拍。

スタイリング：

上記に同じ。4 人のサークルではグレイプバインステップを踏んで動くことは推奨されない。

注釈：

向かい合ったラインに対して、コーラーは、一つの 8 人のサークルを作るのか、あるいは二つの 4 人のサークルを作るのか、もしくは四つの 2 人のサークルを作るのかを明確に指示しなければならない。

英語圏のダンサーにコールする場合は、より多様なコマンド例を使用することが多い。

（たとえば、“Circle up 4, go 3/4 round; Right and Left Thru”）。

1.c.事例 3：2 人のダンサー

動作を始める隊形：向かい合ったダンサー。

コール例：

Single Circle Full Around

Single Circle Left Halfway

Single Circle Left 1/2; Pass Thru

Head Ladies Single Circle full around and back out at home

Those facing join both hands, Single Circle Left three-quarters

To the Right, Single Circle 3/4

Heads Square Thru 4; with your Corner Dosado; then Single Circle half, and Star Thru

Heads Lead Left; Single Circle Right 3/4; Step to a Left-Hand Ocean Wave

動作：

向かい合ったダンサーは両手を取り合い、二人の間を中心として指示された方向に指示された方向に回る。もし方向が指示されないときは左回りに。回転量は全円（full circle）の分数で指定される。（暗黙の回転量はない。）

動作を終わる隊形：向かい合ったダンサー。

タイミング：1/4 周：2 拍、1/2 周：4 拍、3/4 周：5 拍、全周：7 拍。

スタイリング：

ダンサーは右手と左手を、左手を右手と取り合う。

男女の向かい合ったサークルでは、男性の手のひらを上、女性の手のひらを下にしてとる。それ以外の（同性の）サークルでは、右手のひらを上、左手のひらを下にする。常に後者のスタイリングで踊る地域もある。コールが終わった後は、ダンサーは手を下すか、次に続くコールの手の取り方に合わせる。

注釈：

“Single Circle（シングル サークル）”という用語は、この種の動作に古くから使われてきた。大きな動きが必要な他のコール（訳者注：8人や4人で行うコール）においても2人の動きにまで対象ダンサーが減らされたこととも矛盾しない。

（訳者例：

8 人：Single File Promenade→4 人：Four Boys Promenade→2 人：Head Boys Promenade 等

8 人：Couples Promenade→4 人：Head Couples Promenade→2 人：NO1 Couple Promenade

4 人：Couples Trade→2 人：Partner Trade , Boys Trade , Centers Trade 等

4 人：Couples Hinge→2 人：Single Hinge)

英語圏のダンサーにコールする場合は、より多様なコマンド例を使用することが多い。

（たとえば、“Circle up 2, go halfway round”）